

カジュアル規格スプレーギク適応品種の選定

1. 試験のねらい

切花長は業務用の2/3～1/2で、花房のボリュームは変わらないカジュアル規格の高品質のスプレーギクを短期間で栽培するのに適する品種を選定する。

2. 試験方法

- (1) 栽培土壌は表層多腐植質黒ボク土で、基肥は無施用とした、ノズルピッチ 40 cm、ノズルあたり吐出量 38 ml/minのドリップチューブを 90 cm幅のベットに 2 本配管した。
- (2) 品種は、Funriseなど 9 品種で、平成 6 年 8 月 16 日定植の無摘心栽培とし、深夜 10 : 00～2 : 00 までの電照による栄養成長期間は 8 月 30 日までの 2 週間とした。
- (3) 栽培は養液土耕栽培として定植から 2 週間はかん水のみ 1 ℓ /m²とし、3～6 週間まで窒素濃度 100 ppm、1.5 ℓ /m²とし、7～8 週目はかん水 1.5 ℓ /m²、9～10 週目はかん水 0.5 ℓ /m²とした。液肥はポリフィールド (19-19-19) を 5 時～6 時まで 30 分のインターバルで 2 分間、計 4 回点滴かん水を行い、養水分を作土層に浸潤させた。一作における窒素施肥量は 4.2 kg/10 aであった。

3. 試験結果及び考察

- (1) 茎長は、Misel、White Weldonが 70 cm以上、Sunny Puma、Puma、Funrise、Glance、Paso Dobleが 60～70 cm、Dipper、Royal Happy、Isisが 50～60 cmの範囲にあった。
- (2) 生体重は、White Weldonが 50 g 以上、Sunny Puma、Pumaが 40～50 g、Glance、Misele、Paso Dobleが 35～40 gの範囲にあった。
- (3) 着色花数はRoyal Happyが 28 輪と最も多かった。また、White Weldon、Sunny Puma、Pumaが 10 輪以上であった。
- (4) 開花日はWhite Weldon、Dipper、Pumaが早く、定植後 68～69 日であった。
- (5) 茎長、着色花数、開花日数を考慮し、カジュアル規格のスプレーギクに適する品種はWhite Weldon、Pumaと考えられる。また、White Weldonについては、茎長が電照期間 2 週間で 70 cm以上の茎長となるので、65 cmを目標とすれば電照期間をさらに短縮できると思われる。

4. 成果の要約

カジュアル規格スプレーギクの栽培に適する品種は、White Weldon、Pumaの 2 品種であった。

(担当者 花き部 落合悦子*) *現とちぎ花センター

表-1

品 種	茎長 (cm)	生体重 (g)	茎径 (mm)	葉数 (枚)	着色花数 (輪)	開花日 (月日)	S %	F
Funrise	59.9	30.0	3.8	23.4	9.6	10.26	B100	
Glance	64.4	36.8	4.3	20.6	9.4	10.26	B100	
Royal Happy	50.4	34.0	4.1	26.8	23.8	10.26	B 60	D40
White Weldon	71.5	54.5	4.9	24.5	10.4	10.23	B100	
Target	42.4	21.8	3.7	19.0	9.2	10.25	B100	
Sunny Puma	61.4	41.2	4.7	20.2	10.4	10.26	B100	
Puma	63.2	45.6	4.7	20.2	11.4	10.24	B100	
Misele	70.0	37.0	4.4	25.0	9.2	10.26	B100	
Dipper	57.3	34.9	4.5	23.0	8.8	10.23	B100	
Isis	55.0	34.2	4.6	21.6	9.4	10.30	B100	
Paso Doble	60.5	38.0	4.9	16.0	8.5	10.31	B100	

SF:スプレーフォーメーションの略